

FMC

大事な花、樹、果実を、 重要害虫から 守りきる。

かんきつの
「無人航空機
による散布」に
適用拡大！

重要害虫の食害、即効ストップ・徹底阻止で、品質アップ！



コアサハサムシ



ケシキスイ類



チャノキイロアサミダマ



ゴマダラカミキリ



ナミアゲハ



チャノコカク天竺ハマキ



ヨキキエダシヤク



ミカンハモクリガ

かんきつ・果樹・丸和
茶用殺虫剤

イクシレル® SE

powered by
CYAZYPYR®
ACTIVE INGREDIENT



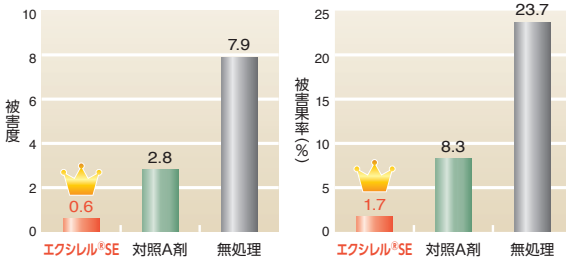
卓効成分シアントラニリプロール (通称: サイアジピル®)
ならではの優れた即効性、長期残効、浸透性、耐雨性

幅広い害虫への
高い効果

ミツバチ、土着天敵、魚類への
高い安全性

アザミウマ類の加害を即効ストップ、傷果を減らす

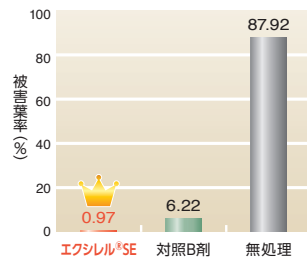
●チャノキイロアザミウマに対する効果



2013年 長崎県農林技術開発センター 九防協試験
【試験概要】◎品種:原口早生 (10年生) ◎区制:1区1樹3反復 ◎発生程度:中発生 ◎処理日:6月5日、28日 ◎処理方法:エクシレル®SE 5000倍、対照A剤 3000倍 ◎調査日:9月6日 ◎調査方法:最終散布から69日後 (9月6日)に1樹あたり100果を任意に選び、果梗部と果頂部の被害果数を調査。被害程度については、日植防のチャノキイロアザミウマの調査基準に準じて調査。◎考察:対照薬剤と比較してやや優り、無処理区と比較しても高い効果を示した。

チョウ目害虫にも卓効

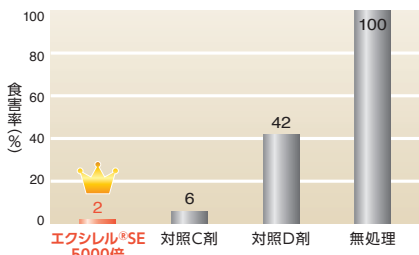
●ミカンハモグリガに対する効果



2010年 大分県農林水産研究指導センター 果樹グループ
【試験概要】◎品種:宮川早生 (5年生、ポット栽培) ◎区制:1区1樹3反復 ◎発生程度:多発生 ◎処理日:7月12日、22日、8月3日 ◎処理方法:エクシレル®SE 5000倍、対照B剤 4000倍 ◎調査日:8月16日 ◎調査方法:各樹10新梢の全葉について、被害程度を調査。◎考察:本剤は対照薬剤および無処理と比較して高い防除効果が認められ、実用性が高いと考えられる。薬害は認められなかった。

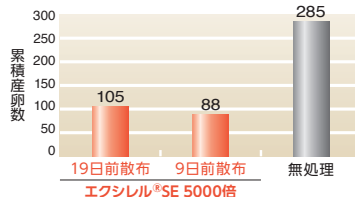
ゴマダラカミキリの食害を即効ストップ、長期間産卵を抑制

●ゴマダラカミキリに対する効果 (食害率)



2021年 丸和バイオケミカル株式会社 阿見開発センター
【試験概要】◎対象害虫:ゴマダラカミキリ成虫 (2021年6月22日に愛媛県松山市内のかんきつ樹に寄生する成虫を採集し、みかん枝葉を与えて飼育した個体) ◎区制:1区1カップ1頭5反復 ◎処理日:7月1日 ◎処理方法:エクシレル®SE 5000倍、対照C剤 2000倍、対照D剤 1000倍 (各薬剤スカッシュ 2000倍加用)の希釈液にみかん葉片2葉を10秒間浸漬し、風乾。処理葉片および供試虫を試験容器に収めた。◎調査方法:処理6日後、供試葉片の食害面積より食害率を算出 ◎考察:食害作用によるゴマダラカミキリ成虫へのエクシレル®SEの効果は高く、いずれの対照剤よりも食害を低く抑えた。

●ゴマダラカミキリに対する産卵抑制効果



産卵減少により、次世代幼虫が樹を枯らすことを軽減、次年度以降の害虫密度を低減します。毎年の使用が有効です。

【試験概要】◎品種:興津早生 ◎区制:1区1樹 ◎処理日:9日前区6月1日、19日前区5月22日 ◎処理方法:エクシレル®SE 5000倍を十分量散布 ◎調査日:6月27日、7月1日、7月4日、7月9日、7月14日 ◎調査方法:各区に10頭ずつ2~3日前に交尾させた雌成虫を放虫する。5日毎に順のエクシレル®SE処理済みの枝を無処理の枝を入れ替え、枝に産卵された卵数を計測する。最終調査日の7月14日に5回の産卵数を合計した。

環境、天敵、ミツバチに安全性が高い

●哺乳類、鳥類、魚類に高い安全性を示します。(普通物相当)

ラット経口	>	5000mg/kg (LD50)
ラット経皮	>	5000mg/kg (LD50)
ウズラ	>	5000mg/kg (LD50)
コイ	>	16mg/l (LC50)

*上記はシアントラニプロール原体の情報です。普通物とは毒劇物に該当しないものを指している適格です。

ミツバチの蜂群に影響がないことを確認しています

●ミツバチ残毒1日影響試験 (100倍液試験)

	3日後 (6月11日)	7日後 (6月15日)	14日後 (6月22日)	21日後 (6月29日)
女王の有無	有	有	有	有
異常行動の有無	無	無	無	無
働き蜂の攻撃性 (随時)	無	無	無	無
幼虫・蛹調査 (有蓋有房)	200<	1000<	1000<	2000<
卵数調査	500<	500<	500<	500<

2016年 株式会社アグリノリク研究
【試験概要】◎品種:宮川早生 石地フリー ◎試験動物:セイウミツバチ (1巣箱に4枚群、約4,000頭) ◎試験規模:50ℓ鉢に植栽した温州ミカン (3~4年生) を7株設置 ◎処理日:6月8日 ◎処理方法:圧力式噴霧器を用いて、所定濃度の希釈液を葉葉に十分濡れるように、1樹あたり100ml散布 ◎試験動物の管理:供試ミツバチは、散布30日前に購入し露地に置き、試験前日に巣箱を設置、自由に訪ねることができるようにした。◎調査方法:散布3、7、14、21日後のミツバチ群に対する影響を調査した。

天敵等への影響

コレマン アブラバチ			ミヤコ カブリダニ			チリ カブリダニ			スワルスキー カブリダニ			タイリクヒメハナ カメシ			オンシツ ツヤコバチ		サバク ツヤコバチ		クサカゲロウ類			ヨトウ タマゴバチ類		
マ	成	残	卵	成	残	卵	成	残	卵	成	残	幼	成	残	成	残	成	残	幼	成	残	蛹	成	残
○	○	0	○	○	0	○	○	0	○	○	0	○	○	0	○	0	○	0	○	○	0	○	○	0

注:卵に、幼:幼虫に、成:成虫に、マ:マミーに、蛹:蛹に
残:その農薬が天敵に対して影響のなくなるまでの期間で単位は日数です。
天敵等に対する影響は
○:死亡率0~25%、△:25~50%、△:50~75%、×:75~100% (野外・半野外試験)、
○:死亡率0~30%、△:30~80%、△:80~99%、×:99~100% (室内試験)
●表中の影響の程度及び残効期間はあくまでも目安であり、気象条件 (温度、降雨、紫外線の程度及び換気条件等) により変化します。
引用:日本生物防除協議会、天敵等に対する農薬の影響目録より。

混用事例

かんきつ											
殺菌剤				殺虫剤				植物成長調整剤	葉面散布肥料		
ICボルドー-66D	ゲッター(水)	バリダシン5(液)	ベンレート(水)	アクタラ(SG)	コルト(WG)	ダニサラバ(FL)	パロック(FL)	セルバイン(溶)	カルチッソ		
Zボルドー(水)	コサイド3000(水)	パレード15(FL)	ポリオキシナル(水)	アグリメック(乳)	コロマイト(水)	ダブルフェース(FL)	ピラニカ(水)				
アイエッティ(水)	ジマンダイゼン(水)	ファンタジスタ(WG)	ポリベリン(水)	アタックオイル(乳)	サンマイト(水)	ダントツ(溶)	ベストガード(溶)				
イオウ(FL)	ジャストフィット(FL)	フジドール(FL)	マネージ(DF)	アドマイヤー(FL)	スターマイト(FL)	テルスター(水)	マイトコーネ(FL)				
エムダイファア(水)	スイッチ(WG)	フルーツセイバー(FL)	ムッシュボルドー(DF)	アドマイヤー(WG)	スターマイトプラス(FL)	トモノールS	マッチ(乳)				
オーシャイン(水)	ストロビー(DF)	フロンスайдSC	モレスタン(水)	アプロード(水)	スピノース(FL)	トランスフォーム(FL)	メビウス(FL)				
オキシンドー80(水)	テーク(水)	ペフキノ(水)	ライメイ(FL)	アプロードエス(FL)	ダニエモン(FL)	トレボン(乳)	モスピランSL(液)				
カスミンボルドー	デラン(FL)	ペフラン25(液)	レーパス(FL)	エルサン(乳)	ダニオーテ(FL)	ナティンボ(FL)	モスピラン(溶)				
キンゼット(水)	トップジンM(水)	ペルコート(FL)	ロブラール(水)	オリオン40(水)	ダニコング(FL)	ニッソラン(水)					
クプロシールド(FL)	ナリア(WG)	ペルコート(水)		カネマイト(FL)	ダニカット(乳)	ハーベストオイル					
クミガード(水)	バスワード(WG)	ペンコゼバ(水)		コテツ(FL)	ダニグッター(FL)	ハチハチ(FL)					

(乳):乳剤 (水):水和剤 (液):液剤 (溶):水溶剤 (DF):ドライフロアブル剤 (FL):フロアブル剤 (SG):顆粒水溶剤 (WG):顆粒水和剤
本表は実施した試験をもとに作成しておりますが、品種、栽培条件、使用濃度、使用時期などにより結果が異なる場合があります。したがって「薬害がない」ということを保証するものではありません。
あくまでも混用知見の一例として考えていただきますようお願いいたします。

適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アゲハ類、ケムシ類、ハマキムシ類、アザミウマ類、ミカンハモグリガ、ミカンキジラミ、ヨモギエダシヤク、ケシキヤシ類	5000倍	200~700ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	ゴマダラカミキリ成虫、チャノキイロアザミウマ、コアカミキリ、ハスモンヨトウ、カネタタキ、ミカンナガタムシ、クワノミハムシ	100倍	4~12ℓ/10a	開花期まで		無人航空機による散布	
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ、アゲハ類、ゴマダラカミキリ成虫、アブラムシ類	100倍	30~500ml/樹 (但し、130ℓ/10aまで)	育苗期		散布	

その他の適用作物:りんご、もも、ネクタリン、なし、おうとう、小粒核果類 (うめ、すももを除く)、うめ、すもも、ぶどう、マンゴー、ブルーベリー、いちじく、茶
開花期まで=開花期から落花期まで

●ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。
●空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水は散布液調製に用いるなど、ほ場等で使用してください。●防除日誌を記載しましょう。

©2025 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社、関連会社の登録商標です。

